

お金の流れを考えよう！預金編

安心・便利と社会性！

預金は、日々の生活資金の出し入れ（流動性資産）や、近いうちに使う予定のあるお金（安性資産）に向いています。預金をするには銀行での口座開設が必要ですが、銀行口座を作る際、ぜひ意識してほしいのは社会性です。

銀行は、私たちのお金を安全に預かってくれるところであると同時に、この章の最初に紹介した通り私たちのお金を企業やプロジェクトに融資して、利益を出します。その利益の一部を私たちは受け取るわけですが、利益の出し方に、どのような基準を設けているのか、その確認が大切です。

最近は銀行のホームページでも、社会に対する取り組みなどが載せられていますので、是非確認してみましょう。

銀行の選び方

- ステップ1: **銀行が、どのような投融资方針を持っているかを確認する。**
- ステップ2: **投融资方針に共感出来たら預金する。**
- ステップ3: **共感できない部分があったら、銀行へ改善希望の声を送る。**

大手銀行の融資方針を調査し、社会性を格付けするFair Finance Guide Japan (<https://fairfinance.jp/>) では、よりフェアな銀行を選べるようにしています。是非一度チェックしてみて下さい。

Fair Finance Guideのウェブサイト



・様々なテーマで格付けしています！

気候変動



人権



兵器産業



労働



Fair Finance Guide は、世界9ヶ国で行なわれているキャンペーンです。メッセージを受け、投資方針を改善した銀行もあります。

また、地方銀行や信用金庫、労働金庫など、地域の金融機関に預ける方法もあります。メガバンクに比べると、これらの金融機関は、地元の企業や団体にお金を融資しているケースが多いです。自分の預金が、自分の住んでいる地域の活性化に活用されるということになります。



マネーエコ・コラム

一お金だけじゃない！リターンの考え方

金銭のリターンはありませんが、社会的企業やNPO団体等への投融资を行っている団体です。投融资先の団体が継続して活動し、住みやすい地域を作ることが社会的リターンと考えます。

NPOバンク

市民から出資を募り、地域で活動するNPO団体や福祉団体へ融資します。例えば、「地域を元気に」「女性の起業支援」「自然エネルギーを進めよう」など、NPOバンクによってさまざまな特色があります。以下のウェブサイトで、全国のNPOバンクが紹介されています。

全国NPOバンク連絡会 (<https://www.npobank.net/>)

オイコクレジット・ジャパン

貧困と闘う人々を投資という形で支援する国際的な協同組合で、途上国のマイクロファイナンス（貧しい人々向けに行う小口の融資や貯蓄などの金融サービス）や協同組合などに投資しています。心ある人々の資金を途上国の人々に投資することで、社会的に有意義なおの流れをつくることを目指します。

オイコクレジット・ジャパン (<http://www.oikocredit.jp/>)

積み立て預金などでこつこつと財産形成をしながら、自分の預金で持続可能な社会づくりもしていけたら、ワクワクしませんか？



お金の流れを考えよう！投資編

増やしながら良い社会づくりも！

銀行預金とは異なり、基本的には元本の保証はありませんので、使う予定のあるお金には向きません。ですが、預金とは異なる楽しみ方ができる商品です。ポイントは、自分のお金が何に投資されているのか？ということです。この章では、投資先が分かりやすい商品を紹介します。

1 投資信託でこつこつ財産づくりをしながら、良い会社に投資したい方

以下に紹介する運用会社の商品の特徴は、「この企業の何が魅力なのか」「なぜこの企業に投資しているか」が分かりやすい点です。銀行や証券会社を通さずに直接販売していますので、疑問点などを運用会社の人に直接確認することもできます。投資先の企業を訪問するツアーで現場を訪れると、お金の流れを体感できる貴重な体験になるでしょう。

✓ 鎌倉投信株式会社 <http://www.kamakuraim.jp/>

✓ さわかみ投信株式会社 <http://www.sawakami.co.jp/>

2 期間をはっきり決めて、増やしたい方

債券発行で得た資金を途上国の支援や地球温暖化対策など、社会的な課題の解決に当てる債券があります。「社会貢献型債券」と言われていますが、2017年末時点で、個人向け商品としては4,730 億円ほどの残高があります（NPO 法人日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）ウェブサイトより。）（通常証券会社で取り扱っており、発売時期は不定期です。）

例

✓ グリーンボンド・・・再生可能エネルギーや環境プロジェクトなど対象にしたもの

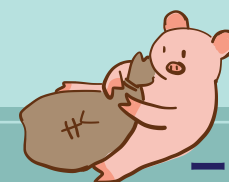
✓ ワクチン債・・・IFFIm（国際金融ファシリティ）が途上国の子供達にワクチンの提供を目的とするもの

✓ ウォーターボンド・・・途上国での水問題解決を目的とするもの

3 ターゲットを絞って投資してみたい方

利潤最大化と社会的課題の解決を目的とした新しいタイプの投資で、インパクト投資と呼ばれる方法があります。種類は様々ありますが、被災地などを応援する、地域の中小企業を応援するなど、テーマが明確で分かりやすいのが特徴です。タイプによっては、その会社の製品が届いたりするのも利息とは異なる楽しみですね。

✓ セキュリテ <http://www.securite.jp/>



マネーエコ・コラム ーお金の流れを変えるキーワードー

「持続可能な成長」に着目したお金の流れを表す、二つのキーワードを紹介します。

①ダイベストメント

化石燃料やたばこ、ギャンブルなど、社会に悪影響を及ぼすと考えられる産業に関わる企業から、投融資を撤退するという意味です。具体的には、保有している株式を売却したり、融資を引き上げたり停止することです。特に石炭分野では、このダイベストメント・キャンペーンが活発になっています。欧米では、2015年5月にバンク・オブ・アメリカが石炭への投資方針を変更したのをはじめとして、シティバンクやモルガン・スタンレー、ドイツ銀行などが石炭からのダイベストメント方針を発表してきました。2018年3月現在、日本でダイベストメントを表明した金融機関はまだありませんが、長期的なリスクを考えた投融資行動が期待されます。

②ESG投資

環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）に配慮している企業へ投資することです。環境ではCo2の排出量削減や化学物質の管理をしているか、社会では、人権問題への対応や地域社会への配慮状況、企業統治では、法令遵守や情報開示状況などを重視します。この考え方は、2006年に国連が提唱する責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）の中で打ち出されました。ESGを重視することが、長期的には企業の持続的成長や中長期的な収益拡大につながると考えます。日本では欧米に比べるとESG投資はまだ馴染みがありませんが、2017年に年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG運用を始めたことから、注目が高まっています。いずれ、ESGという言葉なくなるくらい、環境や社会に配慮して投資することが、当たり前の社会になってほしいですね。

投資先もきちんと確認して「儲け方」に
こだわしましょう！



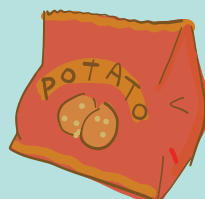
お金の流れを考えよう！番外編

私たちの生活と社会問題とは、お金そのものの以外でも様々な事柄からつながっています。その一部の例も見てください。

①食べ物



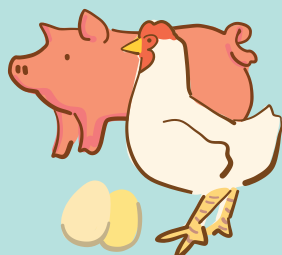
環境や健康への影響が懸念されている遺伝子組換え作物は食用油や甘味料などの原料として広く出回っています。



「植物油脂」の大半を占めるパーム油の生産のために、熱帯雨林が伐採され、温室効果ガスの増加につながっています。



健康に影響のある農薬を使用しない、有機農法で育てられた農作物が広がっています。



日本で飼育される家畜の多くは、麻酔なしで身体を切除される、ほとんど身動きが取れないなど、「動物福祉」が軽視された環境にあります。



フェアトレード食品は、生産者が労働に見合った報酬を受け取れる仕組みで生産されています。

②製品



携帯電話やパソコンに使われる金属は、紛争地での武器購入の資金源になっている場合があります。



途上国にある衣服の生産工場の一部では、労働者が低賃金で劣悪な環境で働かされています。

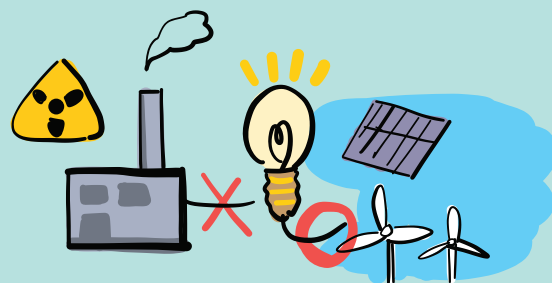


紙製品の一部には、持続可能に管理された森林の木材を使用していることを示すFSC認証マークがついています。

社会・環境にやさしい食べ物・製品についてもっと知りたい人はこちら！

「ぐりちょ」
<https://guricho.net>

③電気



CO2を大量に排出する石炭火力や安全性の懸念がある原子力からつくられる電気ではなく、地球にやさしい再生可能エネルギーからつくられた電気を使いましょう。
地球・地域にやさしい電気についてもっと知りたい人はこちら！
「このデンキがヤバイ！」 <https://yabaidenki.net>

私たちの未来について

科学技術の発達により、私たちは非常に便利な生活を手に入れました。ですが、利便性を追求しすぎたり、目の前の利益ばかり優先したマネーゲームの結果、公害や環境破壊、非人道兵器など、多くの人が命を落したり、苦しい思いをする原因にもなりました。

これからの社会も、気候変動問題や格差の広がり、エネルギー問題などが、ますます深刻になっていき、これらの問題から目を背けることは、私たちにとって大きなリスクとなっていきます。

これからはAIやIoTのさらなる発展で、「自分で何もしなくても全部お任せできる」社会が訪れるかもしれません。

ですが、自分で全く考えずに、全て人（または機械）に任せてしまっただけで本当にそれでよいのでしょうか？

全ての専門知識を身に付けることは難しいです。しかし、自分の生きる社会を作る重要な要素である「お金」に関して、ひとつだけ心にとめておいて欲しいのは、「私たち一人一人が何を選ぶかで、私たち自身の住む世界が変わってくる」ということです。

